

令和5年度 各種アンケート結果分析

IR委員長 伊木亜子

1. 卒業生を対象としたアンケートについて

令和5年9月に同窓生LINEを使用して登録の卒業生226名に対しFormsによるアンケートを実施した。回答数52件(23%)のうち、食物栄養学科卒業生が25件、保育学科卒業生が27件であった。

「卒業した学校の教育内容に満足していますか」の問いに対しては、52件中46件(88.5%)が、80点以上(10点刻み100点満点)と回答した。

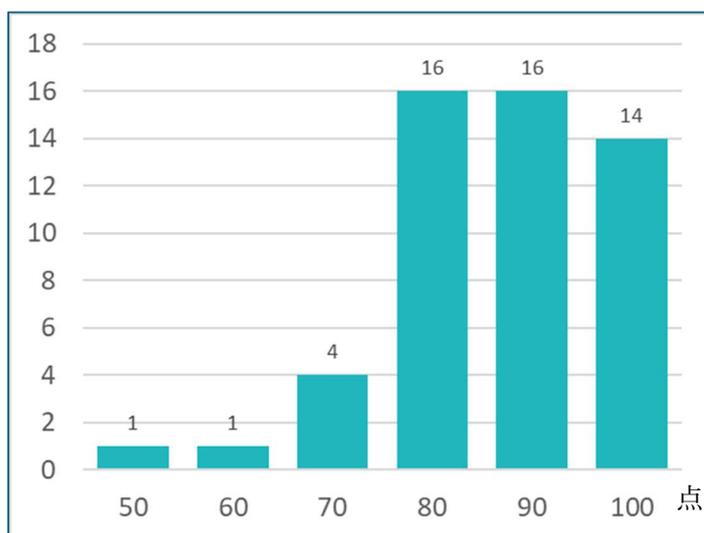


図1 「卒業した学校の教育内容に満足していますか」(n=52)

「卒業した学校の学生時代に学んだ専門分野は、現在の仕事とどの程度関連がありますか」の問いに対しては、「おおいに関連ある」との回答が36件、「やや関連がある」との回答が12件で計48件(92.3%)が「関連ある」と回答している。

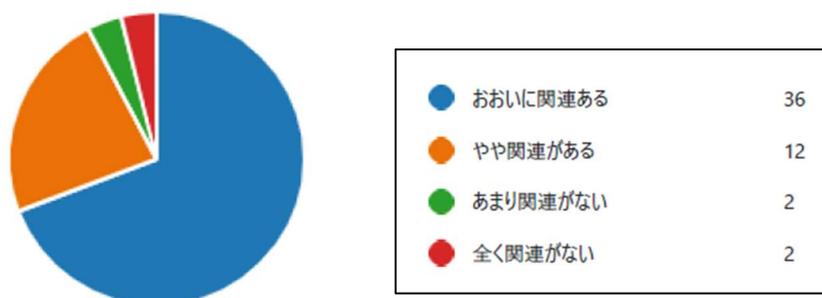


図2 「卒業した学校の学生時代に学んだ専門分野は、現在の仕事とどの程度関連がありますか」(n=52)

「仕事や日常生活の中で、卒業した学校で学んだことや経験が役立っていると感じることはありますか」の問いに対しては、「十分役立っている」との回答が 20 件、「ある程度役立っている」との回答が 28 件で、計 48 件（92.3%）が「役立っている」と回答している。

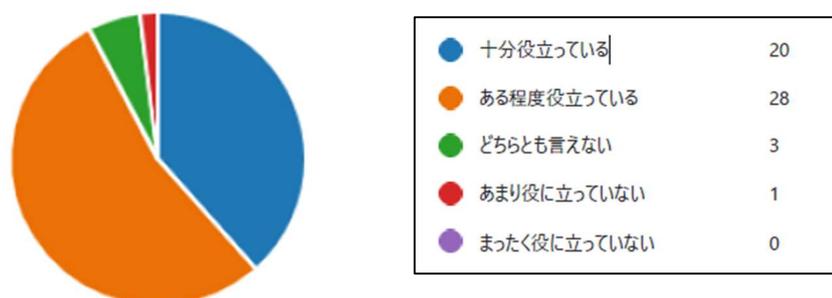


図3 「仕事や日常生活の中で、卒業した学校で学んだことや経験が役立っていると感じることはありますか」
(n=52)

また、「函館短期大学での学びを通して在學生に身に付けて欲しいこと」として該当するものすべてを選択してもらった問いについて、「コミュニケーション能力」が 38 件、次いで「自己判断能力」が 29 件、「専門性」と「チームワーク」がいずれも 21 件であった。

以上より、本学の教育内容には、概ね満足していることが窺われた。また、多くの卒業生が本学で学んだ専門分野に関連した職業に就いていて、学校で学んだことや経験を活かして仕事していることが窺われた。また、在学中に社会人を身に付ける機会が望まれていることも窺われた。

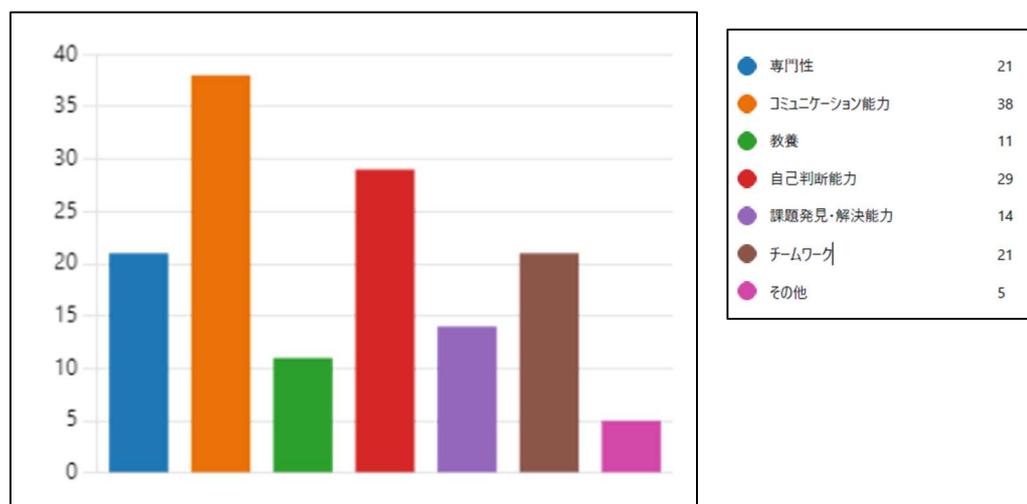


図4 函館短期大学での学びを通して在學生に身に付けて欲しいこと（複数回答可）

2. 就職先・進路先アンケートについて

令和 6 年 3 月に卒業生の就職先・進路先である企業・法人へ依頼文書を発送し Forms によるアンケートを実施した。依頼先 128 件のうち回答数は 39 件（30%）であった。うち、食物栄養学科卒業生就業先 9 件、保育学科卒業生就業先 28 件、両学科卒業生就業先 1 件であった。

本学卒業生は、本学の「教育目標」および「学習成果」に相当する能力を身に付けているかについて、各項目をそれぞれ3段階で評価してもらう問いでは、「豊かな人間性」、「確かな専門性」、「地域社会への貢献」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「コミュニケーション力・社会力」の各項目における評価を図5～10に示す。全体的に「身に付いていない」の回答は少数であるものの、「どちらともいえない」と合わせると「身に付いている」の件数を上回るものが大半であり、企業・法人の本学卒業生に対する評価は厳しい。特に保育学科卒業生の就職先企業・法人からの評価が厳しく、この傾向は例年と同様の傾向であった。

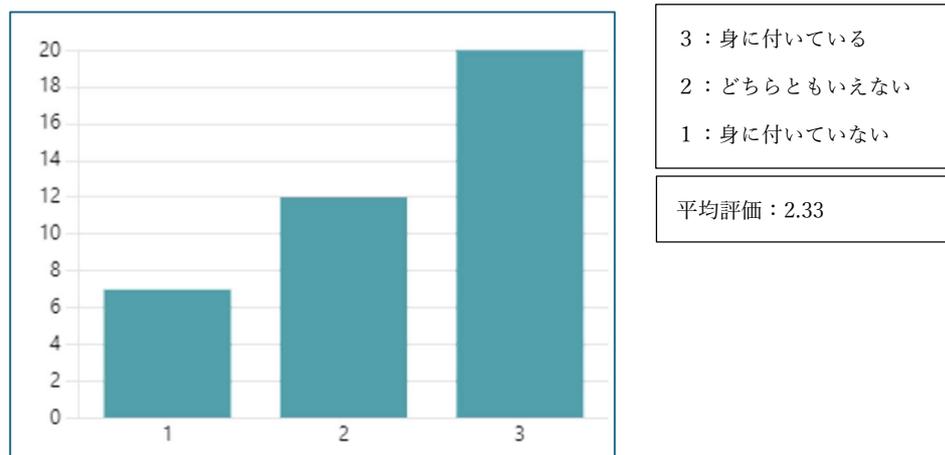


図5 「豊かな人間性」(n=39)

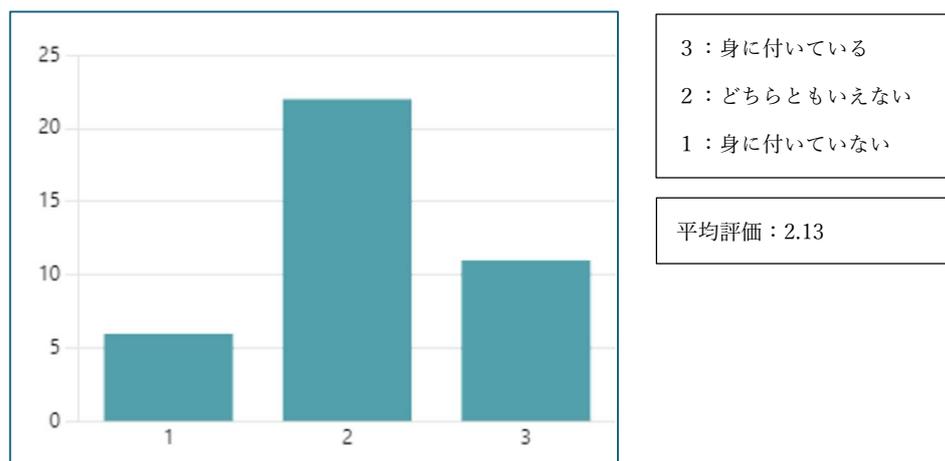


図6 「確かな専門性」(n=39)

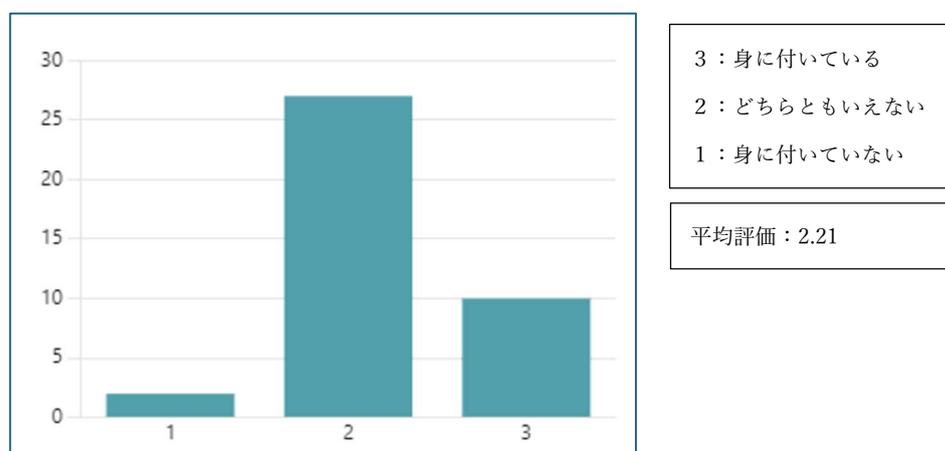


図7 「地域社会への貢献」(n=39)

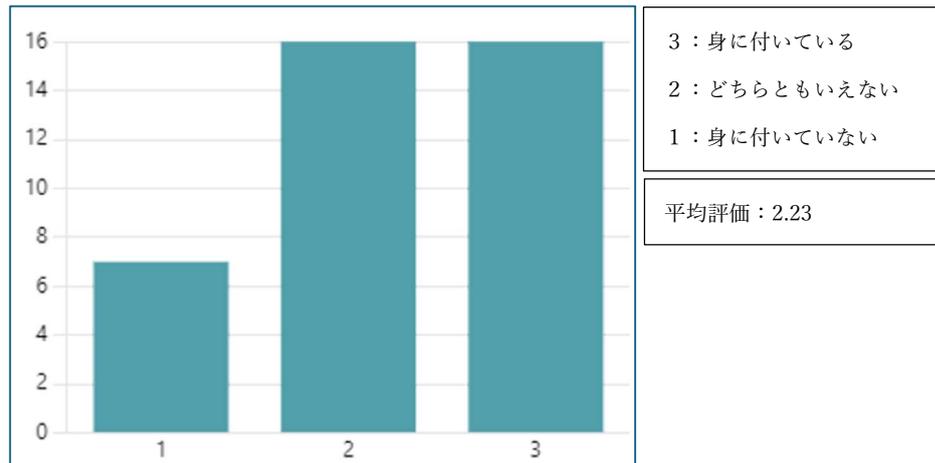


図8 「知識・技能」(n=39)

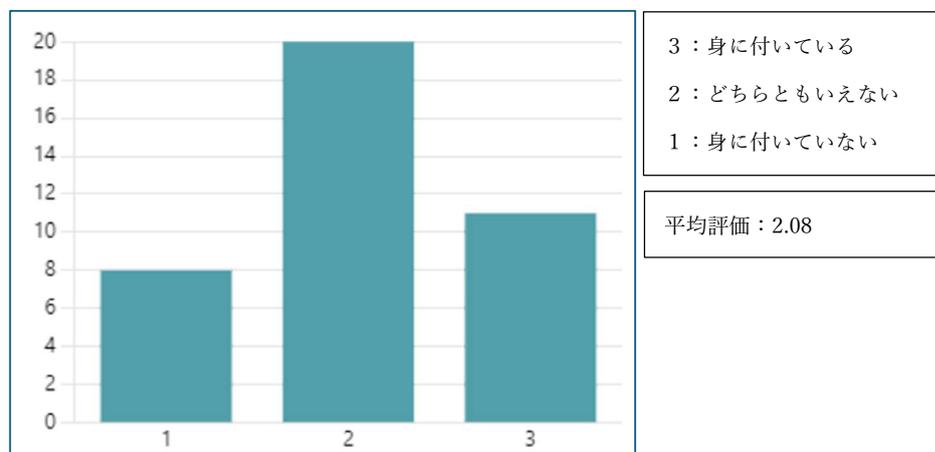


図9 「思考力・判断力・表現力」(n=39)

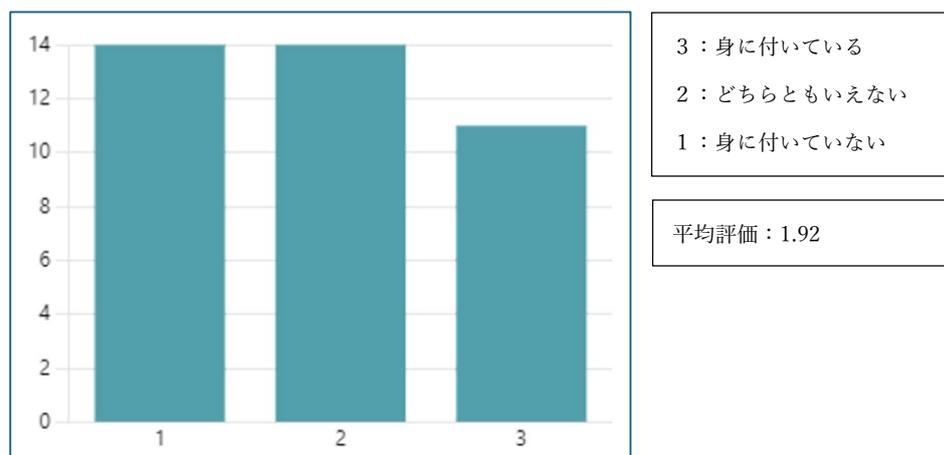
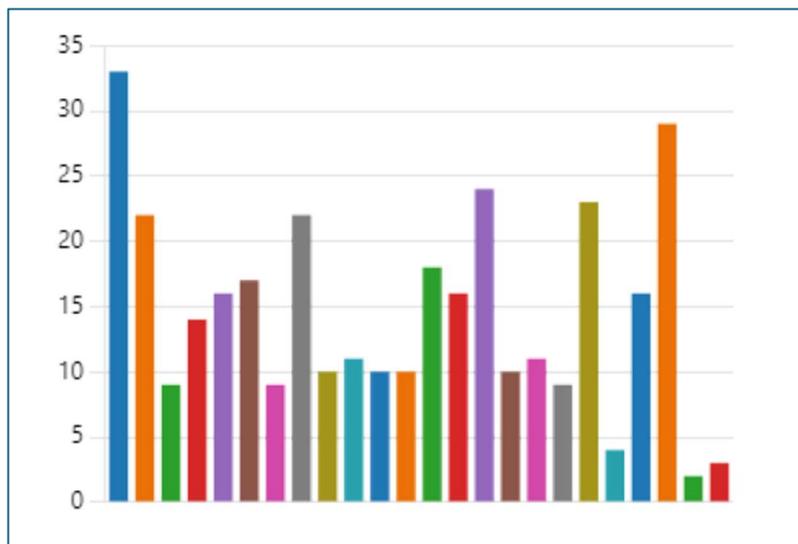


図10 「コミュニケーション力・社会力」(n=39)

また、学生に求める資質・能力について該当するものすべてを選択してもらう問いについて回答数を図11に示す。「主体的行動力」が最も多く33件、次いで「コミュニケーション能力」が29件、以下、「思いやり」24件、「協調性」23件、「柔軟力」22件、「協働性」22件、「優しさ」18件、「ストレス耐性力」17件、「傾聴・共感力」16件、「社会力」16件、「専門的な知識と技能」16件と続く。



①主体的行動力	33	⑬優しさ	18
②柔軟力	22	⑭社会人力	16
③計画力	9	⑮思いやり	24
④自己表現力	14	⑯人間的な力	10
⑤傾聴・共感力	16	⑰判断力	11
⑥ストレス耐性力	17	⑱表現力	9
⑦実行力	9	⑲協調性	23
⑧協働力	22	⑳教養	4
⑨課題発見力	10	㉑専門的な知識と技能	16
⑩状況把握力	11	㉒コミュニケーション能力	29
⑪倫理観・規律性	10	㉓ボランティア精神	2
⑫創造力	10	その他	3

図 11 「学生に求める資質・能力について該当するものをすべて選択してください」（複数回答可）

学生に求める資質・能力について3番目に選択が多い「思いやり」は、過去に保育学科卒業生の就職先からの選択が上位に引き上げていた項目であるが、今回の調査では、ほとんどの給食受託会社やスポーツジムも「思いやり」の項目を選択しており、傾向に変化があった。食物栄養学科の学生にもこの変化について伝え、社会人に求められる資質として意識した教育内容の充実をはかる必要があると考える。

以上

（文責 林原和哉）